

**ご協力お願いいたします
活動資金になります**

運営資金になります。下記の諸
寄付に、ご協力くださいませ。

物品ご提供

- ① 未使用切手・使用済み切手
- ② 未使用または書き損じはがき
- ③ 未使用テレホンカード
(お代に充当いたします。)
- ④ 封筒＝角2・長3未使用で社
名変更等で使わなくなった封筒

マンスリーサポーター

郵貯銀行の、あなた様の口座
から毎月一定金額(1,000円以
上)を引き落とさせていただく
寄付制度です。絵を通しての友
好(マレーシアとの交流)の運営
資金に充当いたします。認定N
PO法人として税金控除になる
領収書を発行いたします。メイあ
さかセンターへお声をかけてく
ださい。ご説明させていただきます。

古本のご提供

古本基金きしゃぼんに下記のよ
うに送ることで、計算された金額
があなた様からのご寄付として弊
法人の口座に入金になります
弊法人から税金控除に利用できる
領収書をお送りいたします。

**☎0120-29-7000
(又は042-677-6184)**

初めての際は、買い取り依頼書
の記入が必要です。添付の用紙を
ご利用ください。30点以上にな
ると運賃を先方が負担します。集
荷にきた際に「NPO法人メイあ
さかセンターに寄付します」とお
っしゃって下さい。なお、対象に
なる本は裏表紙か奥付等に ISBN
コードがついている本が対象にな
ります。最近では貴金属も受け入れ
てくださいます。壊れていても材質
そのもので寄付金査定をされま
す。詳細はメイあさかセンターへ
お問い合わせ下さい。発行して10
年以内の本を業者は歓迎です。

ボランティア募集

- ① マレーシアとの児童画交流に
パソコン入力(エクセル)・台
紙貼り・関連事務作業は通年
- ② カーボランティア
(楽器運搬・行事設営時・書類
配布・学校へ絵画の授受等)
- ③ 事務補助 ④ 会計補助

これまで 1月～9月

ご寄付者名(1月1日～9月30日) ※順不同 敬称略です

・葵機材リース(株)・新井卓治・石塚典子・上野光男・尾池敏之・尾
池富美子・岡崎孝子・小野塚通子・尾久悟・金子勝美・株式会社菊水
・近藤巧器・株式会社タック(株)・リゾン・木下静香・栗山昌子
・加登京子・嵯峨野株式会社・菅原静代・鈴木邦明・杉下洋子・杉下征
子・鷹野早智子・常盤正春・中澤宏則・丹羽ひさゑ・日本マレーシア倶
楽部・橋爪順一・長谷川紗希・広重ウタ子・松尾信一・丸山すみ子
・水浦学・室井徳治・盛田悦子・山口みち子・山下茂・山田今子・路川
秦央・宮崎幸子

(複数回ご寄付される方もいらっしゃいます。匿名で定期的にご寄付
をくださる方もいらっしゃいます) **ありがとうございます。**



1月		6月	
12日	市民活動ネットワーク定例会	21日	朝霞コミュニティ協議会総会
26日	いきいきネットワーク zoom	25日	いきいきネットワーク総会
29日	地域福祉計画委員会	27日	オリ・パラ支援実行委員会
2月		7月	
14日	さいたま NGO ネットワーク zoom	15日	朝霞第六小学校評議員会
16日	いきいきネットワーク zoom	22日	いきいきネットワーク
18日	埼玉県後期高齢者医療審査会	2日	第38回市民祭り委員会
22日	朝霞第六小学校評議員会	8日	介護者サロン「ほっとの会」
24日	社会福祉協議会フレール予防教室	10日	介護者支援条例学習会
3月		12日	いきいきネットワーク
3日	さいたま NGO ネット理事会	10日	いきいきネットワーク
11日	介護者サロン「ほっとの会」	12日	介護者サロン「ほっとの会」
17日	埼玉県社会福祉協議会理事会	10日	いきいきネットワーク
23日	いきいきネットワーク zoom	12日	介護者サロン「ほっとの会」
24日	オリパラ室と共に「べんてろ」(株)へ	12日	市民活動祭り実行委員会
4月		9月	
8日	介護者サロン「ほっとの会」	4日	市民活動祭り実行委員会
15日	埼玉県後期高齢者医療審査会	9日	介護者サロン「ほっとの会」
22日	朝霞市青少年育成市民会議理事会 同上 総会	28日	いきいきネットワーク
23日	市民祭り全体委員会	29日	市民活動ネットワーク定例会
27日	いきいきネットワーク総会 コミュニティ協議会常任理事会	10月	
5月		7日	コミュニティ協議会常任理事会
3日	775ライブフリーFM に出演	14日	いきいきネットワーク
13日	介護者サロン「ほっとの会」	16日	さいたまNPO 法人介護者支援サ ロン会議(ケアラー支援せんべ いについて)
16日	富士見町内会定期総会		

あとがき

マレーシア訪問も叶わない二年間、ミニデイサービスは「閉
室」もなく、新型コロナ禍の下、変則、変則の日々で冬～春～夏～秋が過ぎ
ようとしています。もう17日には、北海道から初冠雪の知らせが・・・ニ
ュースレターも、発行しないままに四季を経ましたことをお詫びいたしま
す。人生100年時代と言うならば、コロナ禍の2年間は時間的には短いの
かもしれませんが、しかし、未曾有の危機に全世界が取り組んだことは何年分
ものエネルギーに匹敵するものでした。弊法人も危うくなった運営の基盤整
備に真剣に取り組みました。改めて時代の流れについていくことの大変さを
痛感。発足の原点を忘れないで周囲の変化に添える実力を結集しようと理
事集団が気を引き締めています。コロナ収束時に本来の活動の存在意義が損
なわれないように、ZOOM 活用での全国的な研修機会に多く参加し貴重な学
びを得ました。30年来の会員・賛助会員の方々、ご支援者の応援も大切に
しながら新人も増やす努力を致します。お詫びとお願いまで 代表理事 尾池

朝霞から世界へ 世界から朝霞へ 生涯学習でいきいきと

NEWS

No.63

認定・埼玉県指定NPO法人メイあさかセンター 2021年10月20日 発行

雨戸が開いていたら いつでもどうぞミニデイサービス 本町会場・サテライトサロン

新型コロナウイルス19及変異株の猛威で世界的に、非日常の生活が厳しく続いたこの一年だったが
細心の注意を払い、約束事を厳守しながら何とか幣法人もミニデイサービスや定例会を閉じることなく
実施し乗り越えることができた。しかし、マレーシアへの渡航も昨年2月以降は難しくなり、コロナ収
束後となる。2022年10月を過ぎるか危惧している。朝霞を中心に各交流参加校から期待を込めて
マレーシアへの作品のご提供を頂き、ボランティアの努力で、たくさんの作業を進めて、いつでもマレ
ーシアへお届けする準備を万端整えている。作品の写真撮影・国際友好賞状と写真の付与など・・・
交流している学校には、ボランティアの手でリニューアルしたマレーシアの児童画が年間を通じて飾
られている。作品を通じてお互いの国の安全とコロナの収束を願っている。

**「スマホ」学び合い・高齢者スマホ教室
・・・多様な機関との連携で・・・**



10月6日～
遠藤講師・ドコモ講師

早朝から、出向かれた方もいらっしゃるぐらい、
教室を心待ちにされていた。申し込まれた方々がA
クラスもBクラスも 全員参加され熱心さが伝わる。
あらゆる場面で、「スマホ」での対応を求められるよ
うになってきた。災害時の利便性も実感されている。
総務省も提唱し、公共施設での講習も逐次、全国
的に普及するのに先駆け「高齢者寄り添い・・・」
と謳って幣法人独自のプログラムで情報弱者になら
ないように・健康管理にも役立て・人とつながり見
守り役にも地域包括支援センター及びドコモショ
ップ朝霞台店様のご協力の下教室を開設。大学生団
体ブリッジY&Cや、幣法人会員遠藤氏がコーディネ
イトしながらの講師役と恵まれた布陣でスタート
することが出来た。A(入門・基礎編)をドコモショ
ップ様が講師役を、B(つながる仕組みを)C(Bの
応用編)D(Cをより生活・健康に応用)と、2022
年2月までの長期教室をスタート。主として80代
の方々が楽しく学び始めている。(3週目小林講師)
会場：メイあさかセンターミニデイサービスサテライトサロン
時刻：10時～11時 11時15分～12時15分
※ 朝霞市地域保健福祉活動振興事業補助金事業

**第21回 定期総会開催
時短で無事終了**

6月27日(日)午後2時30分、広い会場な
がらコロナ対策で限られた人数で定期総会の開
会が宣言された。委任状を含めて66名の出席
を頂き、議題の審議を進行することが出来た。
コロナ禍で、事業が思うように遂行できなかつ
たり、ミニデイサービスの休業(2020年度)な
どもあったが、マレーシアへ渡航不可能で節
約となり、運営の危機を乗り越え、新年度スタ
ートできた。理事・監事の交替もあり新たな気
分で、窮状を乗り越える為に副代表を3人にし、
次世代への継承と50年継続への布石とした。

彩の国ボランティア体験プログラム受入れ



夏休み、高校生・大学生を受入れ、高齢者のボラ
ンティアは、楽しそうに伝授。学生たちの理解力と
熱心さで会場はいつも元気が漲っている時間を共
有できた。今年は、以前体験された学生がリピータ
ーでいらっしゃった等が特記事項。期待にこたえら
れる活動を維持しつつ、体験者が他にも役立つよう
にと願っている。(高校生4名と大学生1名受入れ)



発行 認定・埼玉県指定 特定非営利活動法人メイあさかセンター (MAY Asaka Center)
住所 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-7-17 048-468-6972 Fax 048-468-7088
URL <http://www.mayasaka.net> E-mail mayasaka@mayasaka.net
会費・カンパ振込 郵便振込 00130-9-114311 特定非営利活動法人メイあさかセンター
埼玉りそな銀行朝霞支店(普)3954671トクティヒエイリカツドウホウジンメイアサカセンター

・このニュースレターは、(株)タック様の支援を受けて印刷されたものです・・・

絵を通じての友好 Friendly Relationship through Pictures グローバル教育推進 マレーシア&日本

日本国内での取り組み
児童・保護者・学校のご協力
ボランティアの頑張りも特筆の年に



マレーシアの作品の台紙やネームカードリニューアルに通年作業続投！ 日本の作品の届け先数確認・・・

2020年1月に渡航してから、新型コロナウイルスの世界的な蔓延で、マレーシアもロックダウン等国の対応が速やかだったが、大規模な自粛期間と観光立国にも拘らず、外国からの受け入れをいち早く封鎖するなど、幣法人も渡航は叶わなかった。

幣法人の活動の中でも『絵を通じての友好 = Friendly Relationship Through Pictures』は、マレーシアとの間を33年間往復し続けてきたプログラムであることから大きな痛手を被った。

相互の国の学校教育で描かれた絵画作品を教室から教室へ交換すること・一般公開展覧会(馬日児童・生徒絵画展覧会)・セミナー&ワークショップ(日本のカリキュラムに基づいてマレーシアの教師対象に)を各地で2年間実施できないままできた。折々に各地と連絡で、『絵を通じての友好』を続けて行く約束は確認できてきた。朝霞を中心に各交流校は、長年の歴史を絶やさない気持ちで、作品のご提供をいただき、写真撮影や翻訳・国際友好賞状付与も続けてきた。渡航するために準備が万端整っている。

作品を、早くマレーシアの児童に見ていただくこと、パワーポイントでプレゼン、ビデオにしマレーシア各地のインターネット環境にて各教育局経由で限定で各学校で視聴いただくことにし、理事団体が準備、間もなく仕上がる。感想などを楽しみにしている。

マレーシアの作品を日本の交流校で展示

各学校からご提供いただく作品については、大切に作業を済ませて、65回からしっかりと保管して、いつでも持参できるようにしている。

日本の作品		マレーシア作品リニューアル展示		
65TH	932点	2020年度	3回11校	758点
66TH	627点	2021年度	2回12校	500点
67TH	532点	(装丁しなおし等リニューアル作品)		

各学校では、国際理解教育主任の先生が担当されていらっしゃるが、ご多用の中で、お届けするとすぐ展示替えされるなど、感謝です。児童も、すぐ気づいて鑑賞してくださっていると伺います。

マレーシア各地もコロナ禍で休校も多く 連絡取り合ってきました



パワーポイント タイトル(マレー語訳して)15分に編集

ペナン州

教育省ペナン州教育局、コ・カリキュラムセンター所長及び指導主事の異動があっても、プログラムは継続予定。在ペナン日本国総領事様が6月に異動で赴任されたが、30年前から「絵を通じての友好」については、詳しくご存じでありたく存じます。国際友好賞状へのご署名も早速頂戴出来た。感謝です。

サバ州

州政府の図書館局長は6月に異動で就任されたが、これまでの10余年間広報部長をされるなど、絵を通じての友好プログラムに精通されていることは幸い。第65回・66回共々、国際友好賞状授与者の名簿を教育局長と図書館局長に提出した。

セランゴール州

ゴンバ地方教育事務所

30周年記念国際フォーラム時にも来日登壇された副事務所長様も定年退職。後任の方と指導主事をご連絡頂き、プログラム継続に期待されている。

ウルセランゴール地方教育事務所(KKB)

指導主事が継続のお陰でプログラムも継続される。授業が始まったら作品を集めてくださる。

高齢者・障がい者の支援に係る事業 小さな集い ミニディサービス 療育音楽を楽しむ会

高齢者・障がい者支援に関する事業は、上記の冠事業を継続し、高齢者の「集いの場・認知症の方々の集う場」の活動の原点から、障がい児・者の余暇活動の充実支援と発展する中で、常に、国際事業とのリンクを心掛けてきた。

この数年は、市民と共に実行委員会を組織する規模の行事をマルチステークホルダーで実践し高齢者も障がい児・者も力を発揮しだした。設立33年になるが、代表の自宅開放で始まった「集いの場」も、現在は、朝霞市高齢者生きがい活動支援通所補助金事業として、拠点は家賃補助を受けて2か所運営している。

新型コロナウイルス19の影響で、多くの場面が変則的なものとなった。しかし、この足踏みかと思わせられた期間に各方面に顕著なプラスも生まれ、活動の本質を見直すことにもつながった。

療育音楽を楽しむ会



第4土曜日午後1時30分~3時30分 中央公民館で
小学2年生から90歳まで、プロフェッショナルから初めて楽器に触れる方まで、心身障害児・者も高齢者のリハビリ中の方も、みんなが一緒に奏でる音楽で仲間が増えている。コロナ禍には会場の人数制限で、高齢者は参加出来なかった。この間に、障害児・者の保護者は「オレンジ☆バンド」を編成し、のりりの演奏を楽しめるようになった。☆印(上記写真)のお母さんが、フロアタムでのリードを、練習を重ねて腕を上げて褒められ通し、「練習してるんです」と、周囲をも明るい気持ちにしてくれている。参加費にも変化



＝親子割引ではなく一人ひとりがかっちり納めることに。全国的にも、この2年間は「障害者の音楽発表も盛んならぬ状況」の中で、工夫を凝らして集えた実績を公益財団法人東京ミュージック・ボランティア協会の機関誌に2回に分けて特別に掲載された。各行事の実現に、多くのきめ

細かな協力と、常にインストラクターを助けてくれる強力な助っ人が居ることは、大変ありがたい。

これから・予告

朝霞市市民団体活動支援補助金事業

学習会

『もの忘れ外来とかかりつけ医師との連携』
講師 大場敏明医師
(クリニックふれあい早稲田)

日時 1月30日(日)13時30分~15時30分
会場 朝霞市中央公民館(予定) 定員50名

内心は心配=もの忘れ?言葉が出ない?でも、『もの忘れ外来』の門をたたくのは躊躇されますね!かかりつけのお医者さんが相談に乗ってくれたら・気軽に会話ができるし、家族も一緒にいきやすいのでは・・・。早期診断・早期対応で他の病気も含めて相談が速やかに。(準備などボランティア募集中です) 共催:介護者サロン「ほっとの会」

ミニディサービス

本町会場 サテライトサロン



月例会
音楽療法を通じて仲間づくり・健康維持を。パ・タカ・ラ唱法で。もっとお仲間を増やすことが課題!

第3木曜日 午前10~11時30分 中央公民館で

サテライトサロン



14年間ボランティアでパソコン講師をされた市川信子さんが、健康上で退任。

月曜日から週3日パソコンレッスンを通じ仲間として和気あいあいのチームになっている。コロナ収束後は、さらに、積極的に新人募集をする。シニア英会話は宿題まで熱心にされて講師は多忙!

ニュース62号掲載のあとで

全国初めての「埼玉県ケアラー支援条例」に学ぶ
1月31日 講師 堀越栄子氏(日本女子大学名誉教授)
(さいたまNPOセンター代表理事・日本ケアラー連盟代表)
埼玉県で全国初めての条例を施行した。幣法人もパブ

コメにも応募し、さいたまNPOセンターでの条例案学習会にも参加。長年取り組んできた幣法人の目標でもあるので学習会を企画。コロナ禍で人数制限のある会場も満員38名が集い、高校生も後期高齢者も共に学んだ。

高校生は、その後積極的にZOOMを卓越した技量で駆使して、高校生の学習会や幣法人からも遠藤会員・代表理事も参加の一般の学習会を展開する契機となった。

7月10日NPO法人さいたまNPOセンター主催「埼玉県・北海道栗山町ケアラー支援条例の成立とその施策」シンポジウムがZOOMにて300名参加の下実施された。栗山町社会福祉協議会吉田元事務局長が、『社協主事資格保有者なので、福祉という概念のみならず生涯学習の観点で町民と推進できたのが良かった。』とおしゃった。幣法人代表理事も同じ有資格者として、福祉・国際活動も生涯学習の視点から全事業を展開してきたことを励まされた時間だった。

11月ケアラー月間11月23日オンラインフォーラム(埼玉県)